

令和8年度

全国学力・学習状況調査

調査結果の概要およびその改善の方向性について



令和8年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- ・今回実施された国語・数学・英語に関して、本校の概要を示しました。
- ・調査教科の課題を指導内容と照らし合わせ、改善の方向性を示しました。
- ・生活習慣や学習環境に関する調査について、顕著な項目についてまとめました。

札幌市立白石中学校

教科に関する調査結果の概要及び改善の方向性について

本校の概要

領域別の課題

改善の方向性

国

語

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

▼全国平均を下回っている。

・語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。

・複数の意味（多義）から、その文章で最も適切に合致するものを選ぶ活動の充実。

【話すこと・聞くこと】

▼全国平均を下回っている。

・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。

・単に意見を述べるだけでなく、「なぜそう考えるのか」等を明確に整理してから対話に臨む活動の充実。

【書くこと】

▼全国平均を下回っている。

・段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること。

・事柄を「序論・本論・結論」などの役割ごとに分類・整理する活動の充実。

【読むこと】

▼全国平均を下回っている。

・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること。

・設定した目的に照らして、理由を説明し合う活動の充実。

数

学

【数と式】

▼全国平均を下回っている。

・統合的、発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。

・言葉だけでなく、文字式、図、表、言葉を組み合わせて根拠を筋道立てて書く活動の充実。

【図形】

◎全国平均を上回っている。

・筋道を立てて説明すること。

・論理の根拠となる図形の性質を整理、分類して取り出す活動の充実。

【関数】

▼全国平均を下回っている。

・数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

・日常生活の出来事を単純化して2つの数量関係に着目し、それを関数と捉えて課題を解決する学習の充実。

【データの活用】

▼全国平均を下回っている。

・起こり得る場合を樹形図や表を利用するなどして整理し、確率を求めること。

・くじ引きなどの具体物を用いた実験を通じ、論理的な計算と実際のデータの傾向を比較する活動の充実。

本校の概要

領域別の課題

改善の方向性

英語

【聞くこと】

▼全国平均を下回っている。

・日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ること。

・「何を読み取るべきか」という明確な目的を設定した上で聞かせる活動の充実。

【読むこと】

▼全国平均を下回っている。

・日常的な話題について、文章を読み、概要を捉えること。

・既知の知識や文脈から文脈全体のメッセージを推測しながら読む活動の充実。

【書くこと】

▼全国平均を下回っている。

・音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できること。

・知識の「指導」で終わらず、それら（音声や語彙、文法、言語の働き）を統合し、「やり取り」や「発表」といった実際のコミュニケーションの中で「アウトプットする機会」を繰り返し行うこと。

【全国の平均正答率との差の表記】

- ・◎+3.1 ポイント以上
- ・○+3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上
- ・□全国平均と同じ
- ・▽-3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下
- ・▼-3.1 ポイント以下

- ⇒◎「上回っている」
- ⇒○「ほぼ同程度であるが、上回っている」
- ⇒□「ほぼ同程度」
- ⇒▽「ほぼ同程度であるが、下回っている」
- ⇒▼「下回っている」

教科に関する質問調査

【全国平均と比べて肯定的な回答が上回っている主な項目】

- ・国語の勉強は得意ですか。 60.8% (全国 51.6%)
- ・数学の勉強は好きですか。 56.8% (全国 56.1%)
- ・1, 2年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。 80.0% (全国 77.8%)
- ・英語の勉強は得意ですか。 40.0% (全国 39.5%)
- ・英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 89.6% (全国 87.6%)

【全国平均と比べて肯定的な回答が下回っている主な項目】

- ・国語の勉強は好きですか。 49.6% (全国 57.2%)
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 72.0% (全国 76.5%)
- ・キーボードを使って英語を書くことができますか。 74.4% (全国 76.7%)

本校の今後の取組



「基礎的な力や将来への意識は高いものの、学びの『楽しさ』や『実生活・社会とのつながり』を実感できていない」点に課題がある。今後はより一層、生徒同士の対話、思考を深める問いかけ、表現活動を増やし、学習そのものの面白さや好奇心を引き出す授業づくりを心掛ける。また、各教科の知識が将来の仕事や社会生活、日常の課題解決にどう役立っているかの具体例（データ活用、社会課題へのアプローチ、ICTを用いた発信など）を授業内に積極的に取り入れ、学ぶ意味や実用性を実感させていきたい。

生活習慣・学習環境等に関する質問調査

【全国平均と比べて肯定的な回答が上回っている主な項目】

- ・PCやタブレットなどのICT機器で文章を作成することができますか。 92.8% (全国 84.8%)
- ・PCやタブレットなどのICT機器を使ってプレゼンテーションを作成できますか。 86.4% (全国 80.2%)

【全国平均と比べて肯定的な回答が下回っている主な項目】

- ・自分には、よいところがあると思いますか。 81.6% (全国 84.0%)
- ・将来の夢や目標をもっていますか。 51.2% (全国 67.6%)
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 65.6% (全国 72.3%)

本校の今後の取組



ICT活用スキルが高く実務能力に優れている反面、自己肯定感・将来への展望・地域社会への関心が全国平均より低くなっている。ICT機器の使用について、単なる技術指導で終わらせず、「自信の獲得」や「社会との接点づくり」のためのツールとして活用していく。自身の成果物が誰かに評価される体験を通し、自分自身や社会に対する肯定感（「自分には良いところがある」「自分も社会に貢献できる」という感覚）を養っていきたい。